

JAMA NEWS

NO. 50

The Japanese Association of Management Accounting

日本管理会計学会 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内 日本管理会計学会事務局

会長就任のご挨拶

会長 伊藤和憲(専修大学)

昨年8月、専修大学で開催された年次全国大会で、多くの会員の先生方からご支援を賜り、会長に選出されました。2020年の4月から3年間、会員のみなさまにとって学会活動がより良いものとなるように最大限の努力をする所存です。

会長就任早々に、世界中に蔓延した新型コロナウイルスの影響で、学会活動がなかなか予定通り進められずにおります。これまで行ってきた学会活動を簡潔に申し上げます。

みなし理事会は持回りで開催いたしました。常務理事の選出は、郵送による選挙という形でしたが、監事による厳正な開票を行うことができました。それを受けて、第1回常務理事会と第1回理事会を持回り会議で行いました。

全国大会開催につきましては執行部で十分検討した結果、すでにご案内のように、懇親会抜きで開催することになりました。日本原価計算研究学会は全国大会中止、日本会計研究学会はオンラインでの開催、日本管理会計学会は通常開催となり、3者3様の対応をすることになりました。我々日本管理会計学会執行部としては、会員のみなさまが最もいい判断を下したと解釈していただけるよう、今後も精いっぱい努力する所存です。

会長として3年間で実現したい目標を明らかにして、会長挨拶に代えさせていただこうと思います。その目標は、学会で最も重要な学会誌の取り組み、実務家とのコラボレーションや若手研究者の育成、それに30周年記念事業の実現という3つです。

第1の学会誌についての目標を申し上げます。学会誌『管理会計学』が実証研究の論文に偏っていた時代がありました。管理会計研究は仮説検証型の実証研究だけではなく、ケース研究や理論研究も重要な研究アプローチです。日本管理会計学会は、研究の方法論は問わず、どうぞ積極的に学会誌に投稿していただきたいと考えております。また、実務家の方たちには、論文をまとめる前

に事例紹介として整理していただくコーナーもありますので、どうぞご利用ください。また、論文にならないような文献整理や海外の論文紹介をしたい場合には、研究ノートというコーナーを活用していただきたいと思っております。これらの投稿論文を毎年10本以上になるように、会員のみなさまのご協力をお願いいたします。

第2の実務家や若手研究者の推進についての目標を申し上げます。産学協同スタディ・グループでは、すでにダイキンを対象にした研究プロジェクトが立ち上がりました。このような特定企業を対象にして、実務家と研究者とのコラボレーションによる研究が進められるよう希望します。また、スタディ・グループで行った医療機関を対象としたマネジメント・システム研究をさらに推進していきたいと考えております。医療機関と研究者のコラボレーションを進めていただきたいと考えております。さらに、実務から学ぶ機会であった企業研究会では、実務家と研究者のコラボレーションができるような研究会になることを希望しております。地方の学会活動の活性化を地方部会に期待するところも大ですが、管理会計フォーラムやリサーチセミナーを通じて若手研究者や地方の研究者の発表の場を設けておりますので、ぜひご利用ください。これらの活動の計画と結果については、これまで通り学会ホームページやメーリングリストを通じて情報提供していきます。

第3の創立30周年記念事業について申し上げます。1992年に東京理科大学で創設された日本管理会計学会は、2021年度に30周年を迎えることになりました。これを記念して、2021年の全国大会を30周年記念事業の場としたいと考えております。過去30年間の学会活動を振り返るために30年史刊行を計画しております。他にも、前会長の水野一郎先生が提案された「管理会計の日」を検討中です。素晴らしい記念事業になるよう、会員のみなさまのご協力をお願いすることになりますので、よろしくお願いたします。

新役員決定

▼ 副会長4名決定

2020年5月16日から5月20日の5日間で開催されたメールによる持ち回り会議で行われた「理事会」での審議の結果、4名の副会長が選任されました。

▼ 常務理事27名決定

2020年4月18日から2020年4月30日締切の郵送による常務理事の選挙の結果、20名が常務理事に選任されました。なお、前執行部の会長・副会長5名については役員選任規程第8条により常務理事に選任されることになっています。また、2020年5月16日から5月20日の5

日間で開催されたメールによる持ち回り会議で行われた「理事会」で役員選任規程第9条により常務理事2名が選任されました（参照：新役員一覧の*印）。

として10名が選任されました（参照：新役員一覧の*印）。

▼ 理事 10名追加決定

2020年5月16日から5月20日の5日間で開催されたメールによる持ち回り会議で行われた「理事会」での審議の結果、役員選任規程第6条cにより選任される理事

▼ 参事 7名決定

2020年5月16日から5月20日の5日間で開催されたメールによる持ち回り会議で行われた「常務理事会」での審議の結果7名の参事が選任されました。

新役員一覧

(敬称略, 任期: 2020年4月1日~2023年3月31日)

■ 会長

伊藤 和憲(専修大学)

■ 副会長

崎 章浩(明治大学)
椎葉 淳(大阪大学)
田坂 公(福岡大学)
中村 博之(横浜国立大学)

■ 常務理事

青木 雅明(東北大学)
新江 孝(日本大学)
伊藤 嘉博(早稲田大学) ※
井岡 大度(国士舘大学) ※
今井 範行(トヨタファイナンス
サービス株式会社)
内山 哲彦(千葉大学)
大鹿 智基(早稲田大学)
大槻 晴海(明治大学)
大沼 宏(中央大学)
木村 麻子(関西大学)
後藤 晃範(大阪学院短期大学)
澤邊 紀生(京都大学) ※
清水 孝(早稲田大学)
清水 信匡(早稲田大学)
塘 誠(成城大学)
中川 優(同志社大学) ※
丹羽 修二(株式会社日本経営
ホールディングス) ※※
挽 文子(一橋大学)

藤野 雅史(日本大学)
細海 昌一郎(東京都立大学)
松尾 貴巳(神戸大学)
三浦 勝(日本メックス株式会社)
*※
水野 一郎(関西大学) ※
本橋 正美(明治大学)
諸藤 裕美(立教大学)
山口 直也(青山学院大学)
横田 絵理(慶應義塾大学)

■ 理事

浅田 拓史(大阪経済大学)
新井 康平(大阪府立大学)
岩田 弘尚(専修大学)
岩田 悦之(ZECOOPパートナーズ
株式会社)
庵谷 治男(東洋大学)
大西 淳也(財務省) ※
奥 倫陽(東京国際大学)
尾畑 裕(一橋大学)
川島 和浩(東北工業大学)
小菅 正伸(関西学院大学) ※
島 吉伸(近畿大学)
杉山 善浩(甲南大学) ※
谷守 正行(専修大学)
中井 誠司(国士舘大学)
中嶋 道靖(関西大学) ※
長谷川 恵一(早稲田大学)
終 紫乃(愛知工業大学) ※

丸田 起大(九州大学)
水島 多美也(中村学園大学) ※
宮地 晃輔(長崎県立大学) ※
向田 靖(株式会社経営研究所)
森口 毅彦(富山大学)
山浦 裕幸(千葉経済大学)
山下 裕企(青山学院大学)
吉見 宏(北海道大学) ※

■ 監事

長屋 信義(産業能率大学)
長谷川 泰隆(麗澤大学)
横山 和夫(東京理科大学)

■ 参事

浅石 梨沙(一橋大学)
梅田 充(金沢星稷大学)
梅田 宙(高崎経済大学)
岡田 龍哉(高松大学)
北田 真紀(滋賀大学)
関谷 浩行(北海学園大学)
原 慎之介(名古屋外国語大学)

役員業務分担

業務内容	委員長(責任者)	メンバー
フォーラム	椎葉 淳	副委員長: 中川 優, 藤野雅史 委員: 浅田拓史, 新井康平, 山浦裕幸, 吉見 宏 参事: 北田真紀
企業研究・工場見学	田坂 公	副委員長: 本橋正美 委員: 今井範行, 中嶋道靖, 終 紫乃, 森口毅彦 参事: 梅田 充
リサーチセミナー	椎葉 淳	副委員長: 清水信匡, 山下裕企 委員: 大沼 宏, 松尾貴巳 参事: 北田真紀
地方部会	田坂 公	副委員長: 杉山善浩, 丸田起大 委員: 宮地晃輔, 終 紫乃 参事: 梅田 充

内外学会コラボレーション	椎葉 淳	副委員長：澤邊紀生 委員：小菅正伸，長谷川恵一 参事：北田真紀
実務家交流	丹羽修二	副委員長：三浦 勝 委員：岩田悦之，向田 靖
学会誌編集	挽 文子	副委員長：新江 孝 常任編集委員：青木雅明，伊藤克容，岩田弘尚，内山哲彦， 大鹿智基，諸藤裕美，山口直也 参事：浅石梨沙
学会賞審査	挽 文子	伊藤和憲，崎 章浩，木村麻子，島 吉伸，清水 孝，横田絵理
創設記念事業	水野一郎	副委員長：井岡大度，山口直也 委員：塘 誠
経営関連学会協議会・ 日本経済学会連合		経営関連学会協議会（評議員）：伊藤嘉博，細海昌一郎 日本経済学会連合（評議員）：本橋正美，谷守正行
総務・広報（JAMA NEWS・HP等）	崎 章浩	副委員長：大槻晴海，奥 倫陽 委員：庵谷治男，川島和浩 参事：梅田 宙
J-STAGE	挽 文子	副委員長：岩田弘尚，尾畑 裕 委員：中井誠司，後藤晃範 参事：岡田龍哉
会員・寄付・募金	澤邊紀生	副委員長：中川 優，細海昌一郎
予算・決算	中村博之	参事：原慎之介
庶務	伊藤和憲	参事：関谷浩行

各種業務計画

フォーラム担当

大阪大学 椎葉 淳

フォーラムはこれまで同様、年に3回の実施を計画しています。ただし、2020年度につきましては、4月18日に横浜国立大学で開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、中止としました。このため、2020年度は以下の2回の実施を計画しております。

- ・第2回 2020年7月18日土曜 専修大学神田キャンパス（調整中）
- ・第3回 2020年11月14日土曜 長崎県立大学（予定）

フォーラムは、会員による研究報告を中心しつつも、テーマを決めてディスカッションを含む形式で開催したり、また会員以外の実務家による報告を依頼したりすることもあり、開催委員長と相談のうえ、内容を決めていきます。また、比較的オープンな雰囲気で開催したいと考えています。

フォーラムの開催予定につきましては、メーリングリストにより連絡させて頂くとともに、学会のウェブサイトでも開催案内を掲示させていただきます。

会員の皆さまの積極的なご参加をよろしくお願い致します。

企業研究・工場見学

福岡大学 田坂 公

2020年度の企業研究・工場見学のスケジュールですが、残念ながら新型コロナウイルス感染問題がまだ完全終息

していないため、現在予定を組めておりません。

通常であれば、第1回を8月上旬に実施していますが、現状を鑑みて、今年度は中止させていただきます。

第2回は、2021年3月頃を予定していますが、現在検討中です。この時期であれば、実施可能と思われますので、決定次第、お知らせいたします。

企業研究・工場見学は、企業を訪問して工場見学等を実施し、その企業に勤務している実務家の方にご講演をお願いしております。開催頻度は、年に2回で、フォーラムや地方部会の前日等に行われることもあります。さらに、実務家と研究者が共同研究を行い、学会報告を行うことも目標に掲げたいと考えております。実現に向けては困難もあると思いますが、努力したいと存じます。

企業研究・工場見学の開催については、メーリングリストにより連絡させていただき他に、HPでも開催案内を掲示させていただきます。会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

リサーチセミナー

大阪大学 椎葉 淳

リサーチセミナーは、若手の研究報告を中心に、ディスカッションを付けるなどの内容も計画し、年2回の実施を予定しています。

例年6-7月に1回、10-11月に1回の開催を予定しておりますが、2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、第1回は中止とさせていただきます。

第2回は日本原価計算研究学会と共同で開催する予定としており、オンラインによる開催を含めて、現在検討

を進めております。

リサーチセミナーの開催予定につきましては、メーリングリストと学会ウェブサイトにて案内しますので、是非積極的に参加をお願いしたいと思っております。

地方部会

福岡大学 田坂 公

日本管理会計学会では、地方部会として関西・中部部会と九州部会を置いています。地方部会の最大行事である部会大会では、全国に分散する会員の方々に研究報告の場を身近にご提供しております。また、部会大会には、新会員の獲得など、学会の足腰を強くする役割もあります。さらに、日本公認会計士協会の地方会員にCPEの機会をご提供するなど、部会大会を広く開放することにより、コミュニティへの貢献の強化を進めてまいります。

現時点での開催予定は、以下の通りです。

●関西・中部大会 年2回

●九州部会 年3回

■第3回フォーラム・九州部会共同開催（2020年11月14日）：長崎県立大学・佐世保キャンパスにて開催予定です。

内外学会コラボレーション

大阪大学 椎葉 淳

日本原価計算研究学会とは従来からリサーチセミナーの共催を通じてコラボレーションしてきました。今年度以降も、定期的にリサーチセミナーを共同で開催していくよう協力関係を維持・発展させていく予定です。また、メルコ学術振興財団、およびアジア太平洋管理会計学会(Asia-Pacific Management Accounting Association; APMAA)との協力関係についてもさらに発展させていくよう取り組む予定です。

実務家交流

株式会社日本経営ホールディングス 丹羽修二

研究における管理会計の取り組みに比較し、実務における管理会計の取り組みは弱い。特に経営判断を下すために欠くことができない現状把握の資料という認識は低く、上場の審査や維持のための義務的資料や単なる経理の延長であることが少なくない。

しかしながら、組織内において管理会計に積極的に取り組んでいる企業、あるいは税理士・公認会計士・監査法人のような外部ブレーンを上手く活用して管理会計を経営に活かしている企業もある。このように、管理会計を経営の成長発展に重要なものとして位置づけとしている企業の経営体質、財務体質は極めて力強い。

大学における管理会計の研究は、残念ながら実務と直結しているとは言いがたい。それを直結させ、発展させるためには実務側での実践と経営活動の中での軌道修正、すなわち Try & Error の集積が必要である。

実務の経営と研究の連携を積極的に推進し、さらに循環させることで管理会計を発展させることに微力ながらお役に立ちたいと考えております。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

学会誌編集

一橋大学 挽 文子

学会誌『管理会計学』の編集委員長を務めることになりました。学会誌の充実を通じて、本学会の研究活動の

活発化および研究と実務の融合を通じての社会貢献に微力を尽くしていきたいと考えております。

前委員長の方針を引き継ぎ、多様なテーマと多様な研究方法を採用した論文を受け入れていきます。毎年10本掲載することが目標です。

投稿は随時受け入れており、特段の締め切りはありません。査読についても、学会誌編集委員会運営規程を遵守すべく編集委員会メンバーと力を注いでまいります。この場を借りて、会員の皆様には学会誌への投稿と査読について、より一層のご協力をお願いいたします。

投稿先：〒186-8601 東京都国立市中2-1

一橋大学大学院経営管理研究科

日本管理会計学会学会誌編集委員長 挽文子

E-mail f.hiki@r.hit-u.ac.jp

学会賞審査

一橋大学 挽 文子

本学会が管理会計学およびその隣接諸学に関する理論または応用について、学問的または技術的に貢献するところが大きいと認められた者を顕彰し、学会および学術の発展をはかることが学会賞の目的です。学会賞は、特別賞、功績賞、論文賞、文献賞、奨励賞の5種類あり、他学会に比べて非常に充実していることが特徴といえます。

学会賞の授与は、学会賞審査委員会が提案する議案を常務理事会の議を経て決定されますが、学会賞審査委員会で選考する受賞候補者は、自薦または他薦に基づいて決定されます。推薦者には、候補者の略歴、審査対象業績、業績リストおよび推薦理由書等を審査委員会に総会の3ヶ月前までに提出いただくことになっております。この場を借りて、会員の皆様には自薦または他薦について、より一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。

創設記念事業

関西大学 水野一郎

来年度は日本管理会計学会創設30周年の記念の年になります。創設記念の準備の時間が切迫してきましたので、先日、創設記念事業担当委員の先生方とZoomで第1回の会議を開催しました。そこでは、(1)創設30周年記念大会について、(2)管理会計学会30年史の刊行について、(3)その他の記念事業について、種々意見交換をして、次のようなことが確認されました。

(1)については、創設30周年記念大会は管理会計学会の創設に深く関わりがある大学で開催していただけるように関係各位と相談し、本委員会も開催校としっかり連絡をとり、記念講演など30周年記念大会に相応しい企画に協力すること。

(2)については、本委員会のもとに前執行部で発足した30年史刊行準備委員会を再組織し、引き続き準備を進め、中断しているインタビューなども実現させ、残された課題を整理していくこと。

(3)については、「管理会計の日」の申請と取り組みの意義を整理すること。Web部会の創設の可能性と課題について検討すること。その他の創設記念事業の企画やアイデアを収集し、集約すること。

会員の皆様方には、日本管理会計学会創設30周年を記念すべき年度として迎えることができるように是非ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

総務・広報

明治大学 崎 章浩

広報活動には、メーリングリストによる各種研究会（年次全国大会、フォーラム、リサーチセミナー、地方部会、企業研究会）の案内、学会全般に関わる規定改定などの連絡、ホームページ（HP）のメンテナンス、それに JAMA NEWS の発行があります。メール・メーリングリスト管理について、本年 5 月 31 日に株式会社 国際文献社と契約を締結し、6 月 1 日より同社に外部委託しています。したがって、各種研究会等のメール配信については、同社と緊密に連携を図りながら、タイムリーに情報を提供できればと考えています。HP のメンテナンス、JAMA NEWS の発行については、これまでどおり、当委員会ですべて実施していきます。

総務活動は主に、学会の運営に関わることで、会員原簿の管理や会費の請求などの会員管理業務、常務理事会・理事会等の議題の確定・議事録の作成などの日常的な業務があります。会員管理業務については、今年度より国際文献社に業務委託しています。同社と連携を図りながら、綿密に業務を遂行したいと考えています。日常的な業務については、各種委員会の皆様のご協力を得ながら、円滑に運営していきたいと考えています。

2020 年 6 月 1 日より学会事務局が株式会社 国際文献社に移転しましたので、ご意見・ご要望は学会事務局宛にご一報ください。会員のご要望にお応えできるよう、学会事務局と綿密に連携して学会を運営していきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

会員・寄付・募金

京都大学 澤邊紀生

2019 年度の会員総会（2019 年 8 月 28 日）時点での会員の状況は、正会員 628 名、準会員 66 名、賛助会員 10 社、特別会員 8 名で合計 712 会員となっています。2017 年度 4 月時点での会員数は、正会員 621 名、準会員 76 名、賛助会員 8 社、特別会員 4 名の合計 709 会員で、会員数全体としては安定しています。しかし、準会員数を見ると 76 名から 66 名へと減少しており、若手研究者の加入が重要な課題となっております。学会の健全な発展には、若手研究者が学会活動に魅力を感じられる環境が重要です。そのためにも実務との連携や財政的基盤の充実が求められています。フォーラム、リサーチセミナー、内外コラボレーションを担当される椎葉副会長や、実務交流担当の丹羽委員長や企業研究担当の田坂委員長の協力を仰ぎながら、会員確保に結びつく環境整備に務めます。

予算・決算

横浜国立大学 中村博之

このたび、当学会の予算・決算を担当することとなりました。予算については、学会の円滑な運営を反映するべく、業務計画に基づき適正な予算を策定したいと思います。今年は、事務局機能の委託、30 周年記念行事など、例年と異なる点があり、それらを踏まえた上での予算となります。また、決算については、監事の諸先生方に御指導頂き、会員各位にお認め頂ける決算となるよう作成いたします。学会発展に向け、安定した運営基盤を維持できるように微力ながら貢献を目指す所存です。

学会業務日誌

2020年5月16(土)–5月20日(水)

▼第1回常務理事会開催(メールによる持回り会議)

2020年5月16(土)–5月20日(水)

▼第1回理事会開催(メールによる持回り会議)

- ◆ 2019年度の事業報告が承認されました。
- ◆ 2020年度の方針および事業計画が承認されました。
- ◆ 「理事会の議決による理事」の選任が承認されました。
- ◆ 「理事会の議決による常務理事」の選任が承認されました。

- ◆ 学会賞審査委員の選任が承認されました。
- ◆ 業務分担および役員が承認されました。
- ◆ 参事の選任が承認されました。
- ◆ 新入会員の承認と会員の異動が承認されました。
- ◆ 産学共同研究およびスタディ・グループの会計報告が承認されました。
- ◆ 学会誌『管理会計学』の発行状況について報告されました。
- ◆ 2020年度全国大会の準備状況について報告されました。
- ◆ 国際学会参加費の助成について報告されました。
- ◆ スタディ・グループの公募について報告されました。

会員数の推移

■第1回常務理事会（2020.5.20）：新入会員14会員（正会員9名・準会員4名・賛助会員1社）、会員種別変更5名（準会員から正会員4名・正会員から特別会員1名）、退会者11名（正会員11名）、会員現員数は715会員（正会員:629名、準会員:66名、賛助会員:11社、特別会員:9名）

事務局からのお知らせ

- 学会事務局が以下の通り国際文献社内に移転したのでお知らせいたします。なお、jama-info@sitejama.jpのメールアドレス宛でのeメールは、jama-post@bunken.co.jpに自動的に転送されます。
- フォーラムやリサーチセミナーの案内等、会員宛の連絡にeメールを活用したいと考えています。メールアドレスを未登録の方は、学会事務局までご連絡ください。また、すでに登録されている方で、案内等が届かない、あるいは、メールアドレスに変更があった場合には、速やかに学会事務局までご連絡ください。

日本管理会計学会広報 責任者 : 崎 章浩

メンバー : 庵谷治男, 大槻晴海, 奥 倫陽, 川島和浩, 梅田 宙

発行機関 : 日本管理会計学会

《本部事務局》 〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター (株)国際文献社内

日本管理会計学会 事務局

【ホームページURL】 <http://sitejama.jp/>

【E-mail】 jama-post@bunken.co.jp

【TEL】 03-6824-9371 【FAX】 03-5227-8631